

## 子どもたちの様々

今年も最後の月になりました。4月からの保護者の皆様のご協力に厚くお礼申しあげます。ありがとうございます。

この一年間、保護者の皆様にも様々なことがあったことと存じます。残りの一ヶ月を使って、よかったことばかり思い出してみてもいいでしょうか？そのことが来年の大きな力になると私は確信しています。

さて、4月から子どもたちのいろいろな会話を聞いたり、様々な場面を見たりしました。その一部をお子さんが特定できないようにお知らせします。

玄関で、事務室に手紙を持って行く子に会いました。

事務室に入る時、「先生のお用事で手紙を持って来ました」という声が聞こえました。

その子が、手紙を渡した後、教室に帰って来て先生に「お手紙届けてきました」と報告していました。すごいな。大人でも結果の報告ができないことが多いのに「すごい」担任の先生と「さっきの子結果の報告ができてすごいですね。」と、話をしました。

ある日、男の子がつまらなそうにしていたので聞いてみました。（ある先生が）  
「どうしたの？」と尋ねると、「〇〇さんと結婚しているところを想像していた」と、返事がありました。

その後少しして、その男の子が「ぼくが〇〇さんと結婚しているところを描いて」と、別の子に頼んでいました。

その絵ができ上がった後、絵を受け取ったその男の子は、その絵に口づけをしていました。

新制度に向けての書類の提出、お手数をお掛けして申し訳ありません。ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

平成28年度保護者会より鉄棒を寄贈していただきました。ありがとうございました。耐震補強工事のため、設置が遅くなり申し訳ありませんでした。